

新規ホルモン測定の心不全に対する有用性に関する研究

当院ではこの度、循環器内科で入院された患者さまに対して以下のような疫学的研究を行うことを予定しております。対象となられる患者さま・そのご家族でこのような調査にご意見・ご質問のある方は下記へご連絡ください。

1) 研究課題名

「新規ホルモン測定の心不全に対する有用性に関する研究」

2) 背景と目的

心不全は心機能低下により息切れや呼吸苦などを伴う病態です。現在、心不全の病態把握のためにBNPなどのマーカーが有用で臨床応用されています。治療薬としてもACE阻害剤を始めとするレニン・アンギオテンシン系の抑制が重要であることがわかっておりますが、依然としてその他の病態メカニズムなどに関しては不明な点が多く残されております。

今回、平成18年9月～平成27年1月までの間に当院循環器科にて精査目的に入院され、「拡張型および肥大型心筋症における心予備能の評価と心筋病理組織、および心筋 mRNA 発現量の検討」の臨床試験に参加された80例の拡張型心筋症または肥大型心筋症を対象として、その時採取された保存検体等を用いて、後方視的に解析し、新規ホルモン等の心不全への関与を明らかにすることによって今後の治療成績向上につなげることを目的として、本研究を企画しました。

3) 対象と方法

平成18年9月から平成27年1月までの間に名古屋大学医学部循環器内科にて入院され「拡張型および肥大型心筋症における心予備能の評価と心筋病理組織、および心筋 mRNA 発現量の検討」の臨床試験に参加された、拡張型心筋症または肥大型心筋症の症例を対象とします。

対象症例に関して初診時、入院時、退院後の検査所見、治療内容、最終転帰などのデータベースを収集し、連結可能匿名化（院内患者番号を改変したものを使用したデータベースを構築します。また、保存血液検体を用いて新規ホルモンを測定します。氏名・住所などの個人の特定につながるデータは収集いたしません。今回の調査に関連して、患者さまに新たに問診、検査、診察を行うこともありません。書面は施錠できる棚に保管し、データを保管するパソコンやUSBにはパスワードロックをかけたファイルに記録し、ハードディスクに保存し、盗難、持ち出し、損壊を防止するための対策を講じます。異常により外部への情報漏えい防止を図ります。また発表や論文化によって個人が特定されることはありません。

これらの集計・解析は全て、院内にて行いt-検定により統計学的に検討します。

4) 問い合わせ先

本研究に関するご意見・ご質問は下記の研究事務局へお願いいたします。

研究事務局：

機関名・所属部局名

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 竹藤 幹人

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

直通電話番号 052-744-2147

FAX 番号 052-744-2210

苦情等に関しては下記へお願い致します。

名古屋大学医学部総務課

直通電話番号 052-744-1901